

新・立憲民主党 茨城県連が設立

「保革伯仲。あきらめや絶望と再び向き合い、おごり高ぶる権力に物申す」

去る9月野党再編の第一歩として新立憲民主党が結党。代表には枝野幸男衆議院議員が選出され、これに伴い10月19日には立憲民主党茨城県連設立大会が開催されました。

設立大会では、「立憲民主党は、立憲主義と熟議を重んずる民主政治を守り育て、人間の命と暮らしを守る、国民が主役の政党である。人ひとりの日常の暮らしと働く現場、地域の声とつながり、明日への備えを重視し、国民の期待に応えうる政権党となる強い決意を持って、新たな一歩を踏み



幹事長として初登壇

出しました。」との宣言に加え、県連幹事長に選出されたおぬま たくみ参議院議員からは「茨城県においても、様々な想いや歴史を引き継ぎ、これまでの努力や決断に感謝と敬意を表し、新しい茨



城県連を皆様とともに創っていく覚悟です。所属議員が一丸となって、『草の根の力』、『県民から信頼される強力な政党へ』との活動方針を実践して参ります。」「郡司彰代表、青山大人代表代行、中村喜四郎衆議院議員をはじめとする大先輩たちとともに、“保革伯仲”に向けて、多様性を力に変え、信頼をいただけるよう努めて参る所存です。」との決意表明がありました。

立憲民主党の活動に参加しませんか？



おぬま たくみ をみんなで応援して下さい！

タウン
ミーティング
ミニ集会に
お呼び下さい！



おぬま たくみ
後援会
会員募集

詳しくは、小沼 巧 事務所まで



看板設置に
ご協力
お願いします。



水戸事務所 〒310-0851
茨城県水戸市千波町 1150-1 石川ビル 105
電話：029-350-1815 FAX：029-350-1816
メールアドレス info.onuma@axel.ocn.ne.jp

参議員会館 〒100-8962
千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 1012 号室
電話：03-6550-1012 FAX：03-6551-1012

おぬま たくみ
オフィシャル
ホームページ
onumatakumi.com



誰も置いてけぼりにしない社会の実現

参議院議員

おぬま たくみ

スクラムハーフ
活動報告 Vol.03

スクラムハーフとはボールをつなぐラグビーのポジションです。おぬま たくみ(小沼 巧)はラグビー部で培った魂を忘れず、国民の声を国政に届け、実現に向けて全力で活動していきます。



不撓不屈の精神で論戦に挑む

私が一昨年7月に参議院の議席をお預かりするようになって初めての通常国会、そして2度目の臨時国会は、新型コロナウイルス感染拡大防止策と疲弊する経済の立て直し、そして適切な予算処置で国民生活の混乱をどう緩和していくか緊張感溢れる国会審議を期待していましたが、突然の総理大臣交代や野党の再三の会期延長を与党が拒んだ結果、短い審議時間と形骸化した審議で終わりました。

私は所属する委員会で、昨年は14回質問に立ちました。毎回「不撓不屈」の精神で議論に臨んで参りました。必要なことは質し、政府の驕りや不備は指摘し、政策を提言して参りました。これに対し政府からは、前向きな答弁もあった一方、質問内容とは異なった答弁や実現が叶わなかった提案も多くございました。引き続き、国民、事業者そして国にとって真に必要な政策を訴え続けて参ります。

今年の国会では、国民の命・健康・そして生活を守るため、場当たり的な新型コロナ対策を真に国民のための対策に変え、後期高齢者医療費2割負担問題をはじめ、デジタル庁創設やエネルギー政策などの新たな課題に対しては、真摯な議論を重ね、国民のための政治を行っていかなくてはなりません。

私、おぬま たくみ は丑年生まれの年男です。本年も現場の声を真摯に聴いた上で、自分にも相手にも妥協しない国会論戦に努め、不撓不屈の精神で緊張感をもって活動に邁進する所存ですので、引き続き本年も皆様の叱咤激励を頂戴出来れば幸甚です。

「あきないは丑のよだれ」という言葉のように、
地道に努力し、食欲に成長の決意です。
現場の想いを背景に、正々堂々と論戦に挑み続けます。

参議院議員

おぬま たくみ

小沼 巧

おぬま たくみ (小沼 巧) プロフィール

1985年茨城県鉾田市生まれ、35才。つばさ幼稚園、上島東小、清真学園、早大政経、タフツ大フレッチャー法律外交大院。小学生では百人一首クラブ、中高ではラグビー部、大学では雄弁会に所属。
経済産業省、ボストン・コンサルティング・グループを経て、2019年参院選茨城選挙区初当選。
【参議院】 内閣委員会、決算委員会、災害対策特別委員会、国際経済・外交調査会
【党】 県連幹事長、政調会長補佐、団体交流委員会次長、災害局、参議院国会対策【議員連盟等】 たばこ産業政策議連、タクシー政策議連、全日本分権自治フォーラム、文化芸術議連、災害医療船議連、行政書士制度議連、税理士制度議連、土地家屋調査士制度議連、生活衛生業議連、郵政議連、建設技能者の育成を支援する議連、柔道整復師の業務を考える議連、冠婚葬祭互助制度議連、クリーニング業議連、他

保革伯仲* 緊張感のある政治

*保革伯仲：国会の議席が与野党で伯仲している状況

地元のために 「高収益作物次期支援交付金」問題に物申す

農林水産省が示した「高収益作物次期作支援交付金」では、10月30日までに投資した農家とそれ以降に投資を予定していた農家の間で不公平が生じてしまいます。

おぬまたくみは、茨城県や鉾田市で開催された農水省の説明会に参加するなどして、現場の課題や問題を整理し、その不公平を解消するために党所属議員とともに政府に対して要望書を提出しました。



農水副大臣室にて要望書を提出 右から2人目がおぬまたくみ

要望のポイント

- 申請を行った農家やJAなどの事務負担の軽減
- 書類の提出期限の柔軟な対応

地元活動—

昨年は新型コロナウイルス感染拡大にともない、マスクをして、三密に気をつけて地元活動をおこないました。今年は通常通りの生活に戻ること願っています。



連合茨城中央地協政策懇談会で国政報告



行方市にて遊説



高収益作物次期作支援交付金の説明会で挨拶



要望書を受け取りました



鹿島更生園援護寮を視察



水戸事務所国政報告会を開催



梶岡博樹県3区支部長・泉健太政調会長・おぬまたくみ



藤田幸久県2区支部長事務所開き



看板設置にご協力頂きました

41日間の
臨時国会

本質的な論点提示・ 緊張感ある論戦を展開

委員会での質問要旨

「災害」を見つめ直し、保健所や公共交通で働く人の不安に寄り添う

VS 防災担当大臣（2020年11月20日 災害対策特別委員会）

- 「感染症を除く」と書いてある現行法令のままで、コロナ対策が十分に機能するか？
- 「公衆衛生は不要不急」という誤解のため、保健所が 847（平成6年）から 469（令和2年）へ半減し、労働安全衛生やメンタルヘルス対策がお粗末になっているのでは？
- 「タクシーは国民生活を支える公共交通機関」との共通理解であれば、7兆円近く積み上がっている予備費を活用して早急に感染拡大防止策を講じるべきではないか？



挙手をするおぬまたくみ

「志」を実現すべく経産省を去った当事者として、国で働く人々の不満に寄り添う

VS 国家公務員制度担当大臣（2020年11月26日 内閣委員会）

- 「若手キャリア官僚が辞めたがっている」原因のひとつに長時間労働がある。しかし根本原因は、志を持って入省した若手官僚が「やりがいのある仕事」ができているかどうかである。
- 「同一労働・同一賃金」という原則から、抜け落ちているのが、国で働く非常勤職員。合理的でない格差を、放置して良いことにはならぬのではないか？
- 「非正規で働く者にも、正規と同等の各種手当を出すよう是正」を求めた最高裁判決の趣旨を尊重し、国で働く非常勤職員の処遇の実態把握を進めるべきではないか？



河野大臣と議論するおぬまたくみ

「台風15号/19号」の経験を忘れさせぬよう、被災地の不安を訴え



熱弁をふるうおぬまたくみ

VS 防災担当大臣（2020年11月27日 災害対策特別委員会）

- 「久慈川・那珂川流域の自治体や関係者から寄せられた、復旧・復興に向けた願い」や、「茨城県内の農林水産業者から寄せられた、事業再開・経営再建に向けた願い」を、見落としていないか？
- 「時の権力者によって支援基準がコロコロ変わる」ことがあってはならない。賭け麻雀の検察官や学術会議といった悪例にならぬと、法令に不備は無いと信じて良いのか？
- 「過去に遡って支援」は画期的。令和2年7月の豪雨災害に遡ることがOKなら、令和元年の台風15号/19号にも遡って支援しても筋は通るのに、何故しないのか？

「農水省の一方的かつ急な要件変更」による、現場の不満や不便を正す

VS 農林水産大臣政務官（2020年12月1日 内閣委員会）

- 「正直者が馬鹿を見る」、「農水省のミス農協・自治体に尻ぬぐいさせる」といった大混乱を招いた補助金を、真剣に立て直す腹づもりはあるのか？
- 「必死に頑張る農家に対し、最大6ヶ月に渡って連絡せずとも許されてしまう」法令そのものに改善余地があるのではないか？
- 「官僚の政策の作り方・課題対応のやり方」や「国民とともに政策を練り上げる仕組み」を考えないデジタル庁構想では、本質を見誤る。仏作って魂入れずになりやしないか？



現場の声を伝えるおぬまたくみ